立正大学開校150周年記念
経済学部・経済研究所創立70周年記念

150th RISSHO

立正大学経済研究所公開講座

資本主義はどうやって生き延びればよいのか

社会主義計画経済がうまくいかなかったことは歴史が証明してくれました。しかしながら、生き残った資本主義経済もいろいろな問題を抱えています。「新しい資本主義」が政権のキーワードとなっているいま、資本主義がどうやって生き延びていくべきかについて基調講演とパネルディスカッションを通じて考えたいと思います。

2022年11月17日(木)

開場17:30
開演18:00

立正大学品川キャンパス 石橋湛山講堂（〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16）

第1部
18:00~19:15

基調講演

「会社の新しい形――なぜミルトン・フリードマンは会社についてすべて間違えていたのか？」

岩井克人氏　神奈川大学特別招聘教授・東京大学名誉教授

第2部
19:30~20:50

パネルディスカッション

パネリスト　岩井克人氏
スズキトモ氏
清水剛氏

コーディネーター　前田裕之氏

スズキトモ氏
早稲田大学
商学学術院教授

清水剛氏
東京大学大学院
総合文化研究科教授

前田裕之氏
学習院大学客員研究員・
文筆家

参加無料

立正大学経済学部ホームページからお申込み下さい。 https://keizai.ris.ac.jp/
参加方法には対面参加とオンライン参加がありますので、選択してお申込み下さい。
対面参加定員：250名　オンライン参加定員：500名（共に先着順）

【出演者略歴】

いわい　かつひと
岩井 克人
神奈川大学特別招聘教授・東京大学名誉教授

東京大学経済学部卒業、マサチュセッツ工科大学Ph. D。イェール大学助教授、プリンストン大学客員準教授、ペンシルバニア大学客員教授、東京大学経済学部教授、国際基督教大学特別招聘教授等を経て現職。日本学士院会員、東京大学名誉教授、東京財団政策研究所名誉研究員。主な著書に、Disequilibrium Dynamics、『ヴェニスの商人の資本論』、『貨幣論』、『21世紀の資本主義論』、『会社はこれからどうなるのか』、『資本主義から市民社会へ』、『経済学の宇宙』など。

すずき　とも
スズキ トモ
早稲田大学商学学術院教授

公認会計士試験合格、大手監査法人を経て渡英。オックスフォード大学Ph. D。オックスフォード大学教授を経て現職。チャールズ皇太子「サステナビリティ会計財団」初代学術メンバー。岸田政権下の内閣府「女性と経済」勉強会顧問。主な著書に、『成熟経済・社会の持続可能な発展のためのディスクロージャー・企業統治・市場に関する研究調査報告書』、『新しい資本主義のアカウンティング——「利益」に囚われた成熟経済社会のアポリア』など。

しみず　たかし
清水 剛
東京大学大学院総合文化研究科教授

東京大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士(経済学)。東京大学大学院総合文化研究科講師、助教授、准教授等を経て現職。ソウル大学客員教授、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス客員教授、イェール大学客員研究員、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。主な著書に、『合併行動と企業の寿命——企業行動への新しいアプローチ』、『感染症と経営——戦前日本企業は「死の影」といかに向き合ったか』など。

まえだ　ひろゆき
前田 裕之
学習院大学客員研究員・文筆家

東京大学経済学部卒業、日本経済新聞社入社後、東京経済部、大阪経済部記者、経済解説部編集委員などを経て、2021年に独立。主な著書に、『ドキュメント銀行』、『実録・銀行』、『経済学の宇宙』(岩井克人著／聞き手)、『『失敗の本質』を語る』(野中郁次郎著／聞き手)、『経済学の壁——教科書の「前提」を問う』など。

【会場アクセス】

立正大学品川キャンパス 石橋湛山講堂

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

JR山手線　：五反田駅または大崎駅下車 徒歩5分
都営浅草線：五反田駅下車 徒歩5分
東急池上線：大崎広小路駅下車 徒歩1分

問い合わせ：立正大学経済学部事務室
TEL：03-3492-7529(月～金 10:00 ～ 17:00)
E-mail：eco@ris.ac.jp